

整理番号：9-1

提言題名：旧藤代町において「雇用」及び「まち活性化」につながる事業計画を要望します

【提言の要旨】

取手市では、「取手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し各事業に取り組んでいます。旧藤代町において商業の中心地であった藤代駅前は、空き店舗が数多くみられ、かつての賑わいは失われたままの状態ですが、空き店舗をまちの資源として捉え、積極的に活用を図ることは、総合戦略に位置づけられ、取手市としても産業活動の支援に取り組む方針を示しているにも関わらず、藤代駅前で安定的な雇用づくりにつながる事業は計画されておられません。

また、基本目標には「まちの活性化」も掲げており、「スマートウェルネスとりで」として、活力があるまちで健康で安心な暮らしを創出するため、住民の誇りの醸成や、愛郷心による市民活動、市民の生きがいがづくりが大切であると、総合戦略に位置づけていますが、藤代駅前を取手駅前に比べ、まちやひとに活力がなく、住んでいる人がこれまで以上に幸せを実感できる事業が必要です。

施策展開の方向として、市民が担い手である事業や団体活動の支援を示していますが、旧藤代町で行っている市民や団体が中心の事業に対する取手市からの支援は不十分であり、存続が危ぶまれている事業も数多く、このままでは住民の誇りは醸成よりも失われる可能性の方が高いように感じられます。

さらに、まちの新たな魅力の創造という観点からも、総合戦略に記されている、取手駅前やゆめみ野地区の活性化だけでなく、旧藤代町のまちの顔である藤代駅前も、都市と自然が共生する形で活性化を図る必要があります。

国においては、地方創生第1期の総仕上げと次のステージに向けて、2019年はまちに焦点をあてて、地方の魅力を高めるまちづくりの推進に重点的に取り組む方針であり、旧藤代町の魅力を高める事業を実施する絶好の機会です。

地方創世に質するまちづくり事業を旧藤代町でも計画することで、取手市全体に面的な広がりを持った、まち・ひと・しごとの好循環を作ることが可能になります。

(令和元年5月受付)

【回答の要旨】

この度は、地方創生に関し、ご意見をいただきありがとうございます。

取手市では、国の総合戦略を受けて、「雇用」、「定住」、「結婚・子育て」、「まち活性化」の4つの基本目標を柱とした「取手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定し、これらの目標達成のため、各種施策を実施しているところです。

この度いただきました旧藤代町地区における「雇用」、「まち活性化」につながる事業計画

への要望について下記のとおり回答いたします。

まず、「雇用」については、市内全体への施策として空き店舗に出店する方への補助事業や事業活動拡大のための支援制度の他、「Match とりで」においても起業・創業の支援を行っております。「Match とりで」については、龍ヶ崎市とも連携して展開を図っているものであり、取手駅前限定のものではなく、旧藤代町地区も含めた取手市全域において取り組んでいるものです。

続いて、「まち活性化」については、旧藤代町地区においても、藤代駅北口の改修により、駅利用者の利便性向上や周辺住民の安全や快適性の確保が図られている他、藤代公民館の耐震補強・大規模改造により、エレベータや授乳室を設ける等利便性の向上に取り組んでおります。

また、市民が担い手である事業や団体活動の支援についても、市民ひとりひとりが取手市の良さをつくる担い手となってもらえることを目標として、藤代庁舎内に市民活動支援センターを設け、様々な団体の活動の場を提供している他、活動に対するアドバイス等、ハード・ソフトの両面を持ち合わせた施設として、多くの方々にご利用いただいております。

なお、今年度は総合戦略の最終年度であり、この総合戦略については、次年度以降は取手市総合計画に包含する予定としていることから、総合計画の次期基本計画において、総合戦略を踏まえながら旧藤代町地区も含めて取手市全体の活性化が図られるよう、引き続き取り組んでいくところです。

今後とも、市政へのご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

(政策推進課 令和元年6月回答)